

事務事業名	にのみや野外活動センター管理運営事業			担当	教育委員会 生涯学習課 真岡市公民館二宮分館			
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	3	青少年の健全育成			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	設置、管理及び使用条例				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成16年度～）			
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費		3. 公民館費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	旧二宮町の社会教育委員会から長沼北小（旧木造校舎）跡地の有効利用として「青少年の健全育成のための体験交流施設整備」が答申されたことに基づき、整備検討委員会を経て、平成14年度、15年度で整備。施設面積6,077.95平方メートル。テントサイト10 野外炊飯棟、管理棟がある。 鬼怒川に隣接する位置で、デイキャンプ（日帰り）及びテント、寝袋による宿泊、野外体験ができる。 管理人は、昼間2名夜間2名の臨時職員がそれぞれ交代勤務で対応している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 利用者 1,425人（一般868人、中学生以下557人） うち、宿泊件数 27件 宿泊人数 365人 2年度計画 令和元年度と同様。	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア 利用者数	人	1,875	1,482	1,656	1,425	1,300		
	イ 利用者のうち中学生以下の数	人	672	578	616	557	500	
	ウ							
	エ							
	オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 青少年を主とする市内在住・在勤者。	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア 市内在住者・在勤者の数	人	95,634	93,727	93,597	93,507	93,057		
	イ このうち青少年（6歳から16歳）の数	人	8,683	8,595	8,481	8,331	8,249	
	ウ							
	エ							
	オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 子供たちの実体験が少なくなっている状況化で、日常生活では蓄積されな いさまざまな学習効果の向上を図る。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア 利用者数	人	1,875	1,482	1,656	1,425	1,300		
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 安全快適な野外活動の場を提供し、小中学生の健全育成を図る。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア 利用者の満足度	%	100	100	100	100	100		
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	282	184	311	244	200
	一般財源	千円	2,841	2,804	3,023	2,823	3,075	
	事業費計(A)	千円	3,123	2,988	3,334	3,067	3,275	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	120	120	120	120	120
		人件費計(B)	千円	498	498	500	485	485
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,621	3,486	3,834	3,552	3,760	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成9年長沼北小跡地（木造校舎 砂ヶ原東自治会集落内に位置）の有効活用の答申が社会教育委員会からあり、「鬼怒川に隣接する恵まれた自然環境での交流体験施設の整備」という方針で平成14・15年度で整備した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	少子化が進み、移転した長沼北小も平成19年で長沼南小と統合。家族単位での利用が増えている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	親子で野外活動を通して絆を深めることができる。 学校跡地が有効に利用されているという住民の思い入れが強い。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 青少年健全育成に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 青少年の健全育成を図る施設の整備や管理は市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民、市内在勤者を対象としている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ニーズを把握しながら実施している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 家族単位等でさまざまな野外活動をする場がなくなってしまう。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 管理・運営のための最小限の事業費である。 事業費は管理のための臨時職員の賃金である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 管理のための最小限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 利用者負担があるので、公平、公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							